

## 4月23日講演会記録

去る4月23日、公益社団法人日本技術士会中部本部愛知県支部の平成28年度第1回目の例会が開催されました。「日本のエネルギーの展望と科学技術の将来」という題目で、九州大学名誉教授、核融合科学研究所名誉教授の佐藤浩之助先生にご講演をいただきました。会場の名古屋学院大学日比野学舎の301教室は、早くから大勢の聴講者で熱気に包まれました。

佐藤先生は、まずは各種エネルギーの現状の解説から始まり、原子核反応の基本的な仕組みの解説、原子力発電の現状や問題点、今後の展望などをわかりやすく整然とお話されました。続いて事故の分析や教訓、理学と工学の関わり合い、最後には先生が学生時代から今日に至るまで取り組んでおられるラグビーの話も熱く語っていただきました。

福島第一原発は、東日本大震災では地震の揺れには十分に耐えたが、津波には耐えられず、5.7mの防波堤では海水侵入を防げなかったとのことでした。100年に一度の津波を想定して5.7mという高さにしていましたが、これでは不十分で、 $10^{-6}$ ~ $10^{-7}$ /年程度の安全性を目指すべきであったとのことでした。科学技術に完璧は無いが常に完璧をめざせと、先生は強く力説されました。

当日は50名もの皆様においでいただきました。お忙しい中、足を運んでいただいた皆様には深く感謝しております。愛知県支部は、これを皮切りに毎月のように例会を行い、より多くの皆様に喜んでいただけるように前向きに取り組めます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

文責：野々部顕治